

令和7年度補正予算 重点支援地方交付金の活用状況について 京都府 城陽市

■実施状況

<令和8年3月時点>

| | |
|---------------|----------------|
| 交付限度額 | 7億5,024万円 |
| うち令和7年度 交付決定額 | 2億9,463万円(39%) |
| うち令和8年度 交付決定額 | — |
| 残額 | 4億5,561万円(61%) |

■主な事業概要 ※規模の大きい事業を最大5つ程度を記載(詳細は別途実施計画をご覧ください)

生活者支援

◆給食食材価格高騰対策事業 事業費：144万円 ※食料品特別加算を活用
給食の内容低下と保護者負担の増加を回避するため、基幹物資及び一般物資について価格高騰相当額を支援します。

◆学習用端末更新事業(中学校分) 事業費：1,231万円
近年の物価高騰に伴い、タブレット端末等の教育機器の更新に係る経費が従前より増加している状況にあるが、子どもたちの学習意欲を維持するためにも、従前と同様の十分な学習環境を確保することから、現行と同水準の機能を備えたタブレット端末等に更新を行います。

生活者及び事業者支援

◆プレミアム付商品券発行事業 事業費：2億5,000万円 ※食料品特別加算を活用
物価高騰等に直面する生活者への支援や市内消費の喚起と個店の利用促進のため、プレミアム付商品券を発行します。

◆LOGOS LAND空調改修事業 事業費：3,088万円
LOGOS LANDは市の総合運動公園とカフェ等を併設した宿泊施設を合わせた複合施設であり、直接住民の用に供する施設として、市民等に多く利用されている。LOGOS LANDにおいても、エネルギー価格の高騰により施設内のカフェ等が価格転嫁の必要性に迫られているところであるが、空調機の省エネ化によるエネルギー経費の低減を図ることにより、利用する市民等に物価高騰の影響を受けずにサービス提供を継続するもの。また、エネルギー価格の高騰により経営が圧迫されているLOGOS LANDの管理運営事業者についても、空調の省エネ化を実施することにより支援します。

※事業費の全部又は一部に本交付金を充当予定